

梅鶯仏教壮年

第42号
2007年
1月14日

梅鶯仏壮報恩講

二月三日(土)

夕六時より

法輪寺本堂修復のため、繰り延べとなっておりました梅鶯仏壮報恩講を、右記の通り厳修致します。
なお、日程が当初と変更になっておりますのでご注意ください。

法輪寺の報恩講も、本堂修復慶讃法要と併せて**1月の二十七日(土)**に厳修されます。
お説教は藤谷峻成師です。こちらの方にもどうぞお参りを願います。

生きていて
楽しいと思うことの一つ
人間が
人間と逢って
人間について
話をする時です

相田みつを

新年のご挨拶

会長 田中 薫

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、新しい年を穏やかに迎えのこととお慶び申し上げます。昨年、定例会、本願寺参拝等梅鶯仏教壮年会の活動・発展に積極的にご参加いただき、誠に有難うございました。特に、本山参拝では、前会長北村喜代信氏をはじめ、5名の会員さん、が揃って法名を拝受させていただきました。寄稿でご案内の北村雄氏の稿です。また、大晦日には、除夜会を前に、引き続き勤めさせて頂き、まさに、平成18年を締めくくるのと、相應しい行事でありました。上の仏間で、普段あまり利用しない部屋ですが、やはりこの部屋に入ると、気持ちが引き締まり自然にお念仏が出てきます。帰るところで、昨年愚息が大阪より造る大きな問題が起りましたが、ここでそれは兄妹のプライバシーを守るためには、どうしても、あの仏壇のお仏壇の真上を廊下にしない

と、互いのプライバシーを守る間取りが取れないと言う、大変困った問題でした。早速、長野住職に相談をいたしましたところ、いろんな例を参考に、「問題ないですよ」と助言をいただき、一応問題は解決しました。心強い住職の助言を糧に工務店の営業に相談したところ、「お仏壇の上には『空』と書いておく」と良しと聞きますので、そのようにしました。しかし、私は「空」の文字は、お呪いの類だと思いませんので、即座に「その必要性はない」とお断りし、その代わり、この廊下を通る時には、必ず「お念仏」を唱え、決めたところ、不思議と気持ちよく決まりました。この話を廊下を毎日通る息子にも知っているとどうかは、本人のみぞ知るところです。時々思い出し「お念仏」を唱えてくれます。今年も一年、梅鶯仏壮を会員の皆様とともに、聞法の輪を拡げて参りたいと存じます。皆様のご指導、ご助言いただきますようよろしくお願い申し上げます。

前号からのつづき
○動物や植物に

ていたと聞
きます。

けれどその
ことに本気で

○念佛者の社会生活
地獄へ行くしかないこの



2018年正編寺務報告